



大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされました。2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区の避難指示が解除されました。さらに2022年6月には下野上地区など町内的一部で避難指示が解除され、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町大川原LIFE編集部 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp

こんにちは!! 大川原を散歩しながら、しばらく前から気になっていたことがありました。町民の新妻若さんの畑に置いてある四角い箱……。「蜂まで始めたのかな!?」畑を訪ねてみると、「実証実験中なんだ」と若さん。県の浜地域農業再生研究センターの取り組みで、綠肥として作っているクローバーやツバの花を活用するために、2年ほど前から養蜂を実証しているそうです。

見えにくいと思はずか、
巣箱の入り口にミツバチが
集まっています。

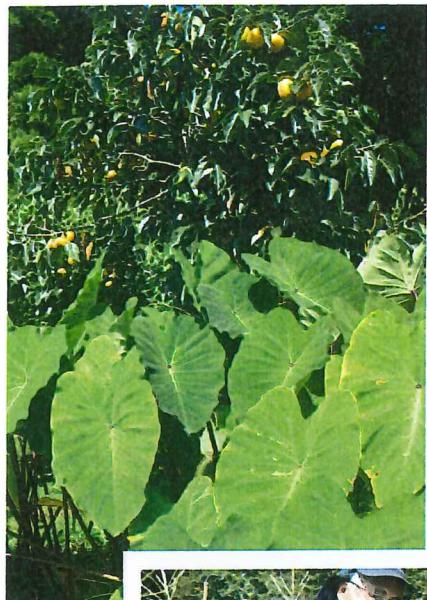


うちは畑を貸しているだけだけど、今年は黄色スズメバチに巣箱を取られちゃって、どうもナニだ~? ずっと人とスズメバチを駆除したんだけどね。 と若さん。

研究センターによると、採取した蜜は出荷せず、放射線量などを分析して安全性を調べます。大熊町内では、若さんの畑を含め数か所で実験中で、結果はまだ公表されていませんが、安全性が確認されれば、出荷につなげていけるのでは、とのことでした。

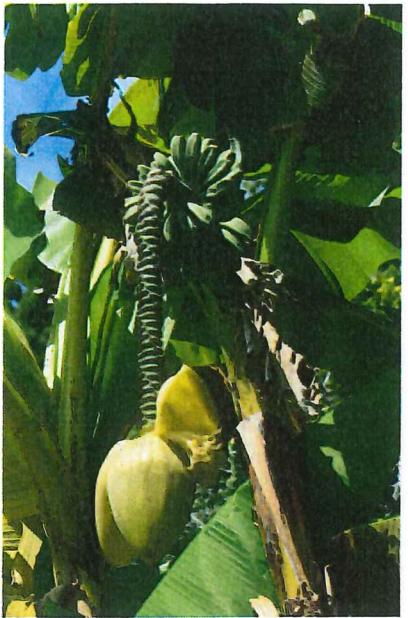
震災前の大熊では養蜂をしてた方がいると聞いたことがあります。大熊産のはちみつ、食べられる日が楽しみです!!





バナナ!! →
大熊では寒すぎて
食べるほどには
育たないの看起來。

← 里芋の葉っぱの
奥には、柿が
なっていました。



トウモロコシと芋焼
んどう。とうねかなー。
昨日、動物にやられた
んだよ。えーねかなー。

二の取材で、茂さんの畠を
訪れたのは 9月下旬。畠は
夏の終わりと秋の気配に
満ちていました。秋の芋煮に
使うための野菜も、すくすくと
育っていましたよ。

サル菊もたのしみです。



Happy Halloween